

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和05年12月19日

計画の名称	大阪狭山市みどりの核となる公園づくり（第3期）（防災・安全）													
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	大阪狭山市													
計画の目標	大阪狭山市公園施設長寿命化計画に基づき、利用者が安全に安心して利用できるよう公園施設の予防保全的な改修等を実施するとともに、今後の公園の活用を踏まえた整備を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		190	A	190	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6年度	R8年度	R10年度
1	公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改修・更新等を行い、実施した公園施設の改修割合や公園利用者を増加させる。			
	公園施設の改修割合や公園利用者の増加	0人	30人	50人
	改修済公園における1日あたりの公園利用者数の増加			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大阪狭山市	直接	大阪狭山市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業	長寿命化計画策定公園施設の改修等	大阪狭山市	■	■	■	■	■	150		策定済	
	A12-002	公園	一般	大阪狭山市	直接	大阪狭山市	－	－	公園施設長寿命化計画策定調査	計画改訂 都市公園 4 公園	大阪狭山市	■						8		策定済
	A12-003	公園	一般	大阪狭山市	直接	大阪狭山市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業（5 か年老朽）	健全度 C 判定かつ耐用年数 9 割超の公園施設の改修等 N = 4 公園	大阪狭山市	■						32		策定済
												小計						190		
											合計						190			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	15				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	15				
前年度からの繰越額 (d)	15				
支払済額 (e)	15				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	15				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	50				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事が完了していないため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 大阪狭山市みどりの核となる公園づくり（第3期）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]